

平成26年度 磐田市立豊田中学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
「保障が な る 学 校」 を	○学力の定着と向上を図る ・ 真剣な学習態度 ・ 自ら課題を見つけ追求する ・ 自分の言葉で表現する	生徒アンケートで「授業にしっかり取り組んでいる。」と答える生徒90%以上	B	87% (92%)	○アプティテューンなど、生徒が主体となる授業実践が今後必要となってくるのではない。 ○将来の目標が定まることで、学習への意欲が高まり、生活もきちんとしたものになっていく。来年度計画しているキャリア教育の考え方に基づいた取り組みは有効だと思う。 ○校内研修や小中一貫教育等で行われている授業研究は、若い教員にとってよい刺激になっていると思う。教員同士が切かく磨る関係にあることがとても良いと思う。
		生徒アンケートで「授業の内容がよく分かる。」と答える生徒85%以上		77% (83%)	
		生徒アンケートで「毎日家庭学習をしている。」と答える生徒90%以上		82% (87%)	
き れ い な 学 校	○心を育てる教育に努める ・ 笑顔であいさつ、明るい歌声 ・ 他を思いやりそっとアシスト ・ やさしい言葉づかい ・ 美しい学校 ・ 品のある身なりとマナー	生徒アンケートで「学級はルールを守り協力する雰囲気がある」と答える生徒85%以上	A	82% (81%)	○今年度は、地域の方から「豊田中の生徒は挨拶がしっかりできる。」と、評価していたことが増えた。また、評価指標においても、2項目で目標を上回った。しかし、「自ら進んで」という点では、未だ課題があり、今後「自主性」を重視した指導の充実が課題としてあげられる。 ※今年度の反省を踏まえ以下の点を重点に教育活動を展開する ・ 一人一人の存在感と共感的な人間関係の醸成 ： 学級づくり（魅力ある学級開き、人間関係づくりプログラムの活用） ： Q－Uを生かした学級づくり（ルールとリレーション） ： あいさつ、清掃（黙動）、靴そろえの徹底 ・ 自分で考え判断し行動する力を育てる学級、生徒会活動 ： 自己決定の場の充実（話し合い活動）、一人一人を生かす役割と責任の自覚化 ： 三人行事（鉄人遠足、体育大会、文化発表会）を生かした取り組み
		生徒アンケートで「自分は、いじめなどのない学級づくりに取り組んでいる。」と答える生徒95%以上		86% (91%)	
		生徒アンケートで「自分は、清掃活動にしっかり取り組んでいる。」と答える生徒90%以上		94% (93%)	
		保護者アンケート「子どもは服装や時間のきまりを守っている。」と答える保護者90%以上		92% (93%)	
	○個性を大切に心身を鍛える ・ 善悪の判断 ・ 粘り強い部活動 ・ 心身の健康管理	問題行動発生件数前年度以下	B	+22	
		生徒アンケートで「部活動は自分にとって充実した活動になっている。」と答える生徒80%以上		93% (91%)	
		う歯等治癒率90%以上		59%	
	安全安心な学校をつくる	スポーツ振興センター利用者数 昨年度比+10%	A	-50%	
		いじめ発生件数0件		0	
	家庭地域との連携を図る	保護者アンケート「学校は家庭への情報提供を積極的に行っている。」と答える保護者85%以上	A	86% (87%)	
		生徒の校外ボランティア参加者数 昨年度比+10%		+24%	

※数値は12月末現在

学校関係者評価を受けてのまとめ

今年度の学校評価や学校関係者評価を受け、本校の教育課題を「こころざしをもって困難にめげずに立ち向かう気力の涵養」「自己肯定感の醸成」「自分の考えを相手に適切に伝える力の育成」「自分で考え判断し行動する態度や能力の育成」「集団への適応と欠席率の改善」「基礎学力向上」と捉えた。来年度は、以下の実践を行い教育課題の解決に取り組んでいきたい。

○授業におけるつけたい力の明確化や生徒個の見取り、言語活動の充実、協同学習や問題解決的学習などの実践を通して、思考力や判断力、表現力の向上に努める。また、各教科の学び方に関する教科ガイダンスの実施や家庭学習の手引きを活用した指導により、基礎基本の定着を目指す。

○人間関係づくりプログラムの効果的な活用とQ－Uを生かした学級づくり等に取り組む、一人一人の存在感と共感的な人間関係づくりを推進し、自己肯定感の醸成や自己教育力の育成を図る。

○生徒一人一人の役割と責任を自覚化させるとともに、主体性・協力性を発揮する自治的活動(学級活動、生徒会活動)を通して、規律と共感的な人間関係の醸成を図る。

○キャリア教育の視点から「こころざし」を育む教育を推進する。中核となる総合的な学習の時間では、「こころざしづくりカリキュラム」に基づき、地域人材を積極的に活用し、職業体験学習等の各種体験活動の効果的な活用を進める。